

業務連携でサプライチェーンを「強くする」

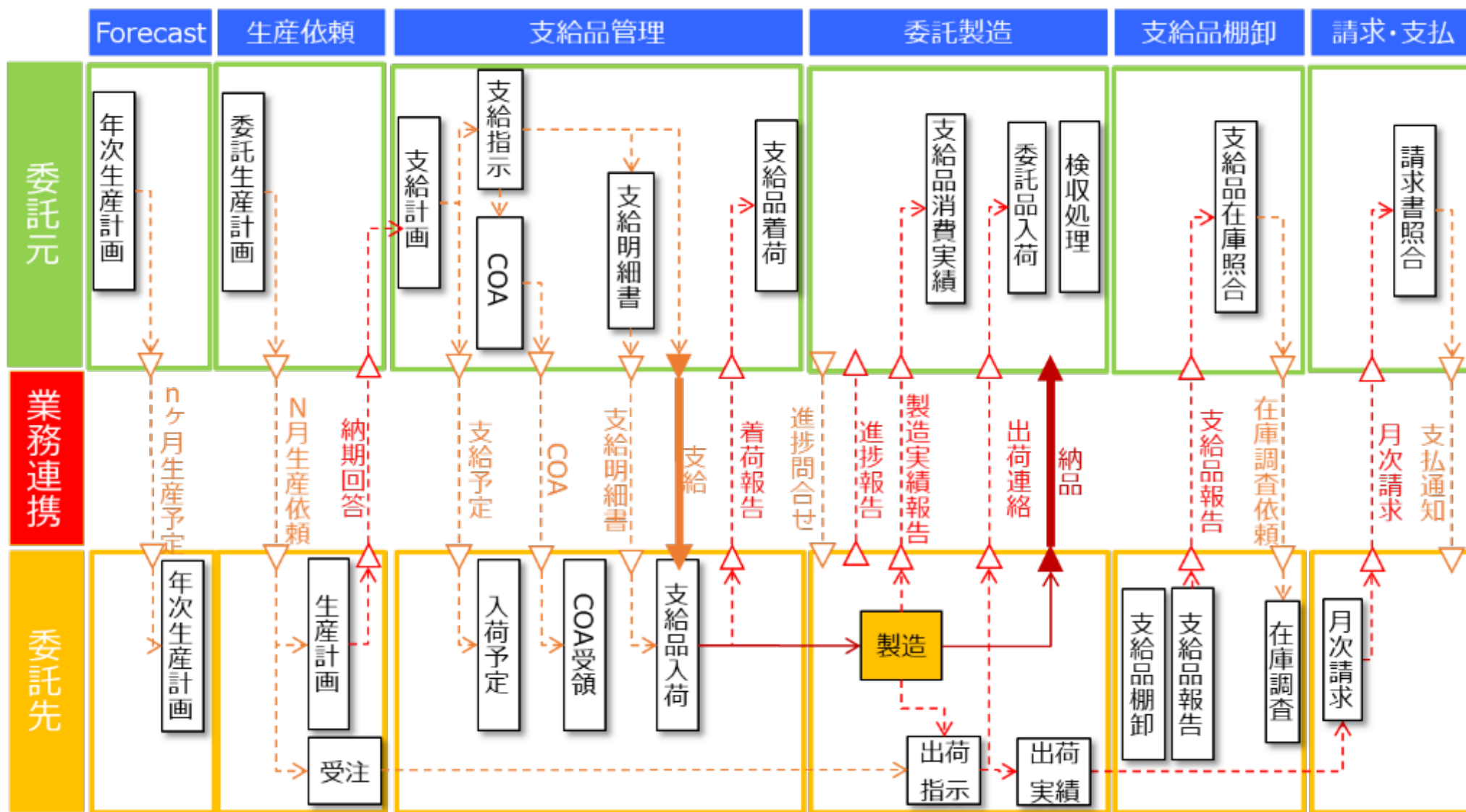
SaaSアプリケーションプラットフォーム



With コロナで変わる グローバルサプライチェーン管理

デジタル化で**製造委託先**とのスムーズな**情報連携**を実現 編

製造委託先との業務連携（本セミナーのテーマ）

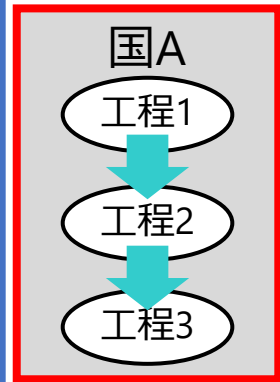


この図は製造委託における一般的な業務連携を図示したものです。
計画してから完了するまで、複雑な業務連携が行われています。

委託製造が進んだ背景と現在の課題

サプライチェーン再編の歴史

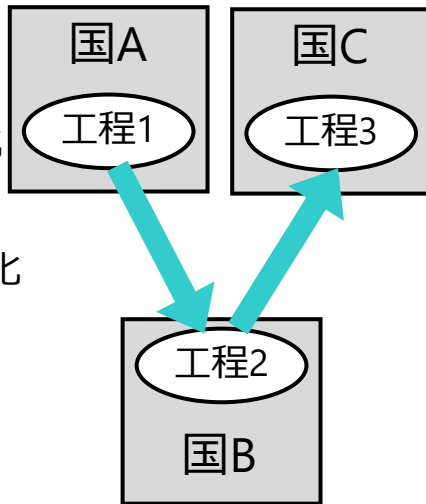
1980年代～



デジタル化
グローバル化

1980年代末～

製造工程のグローバル化

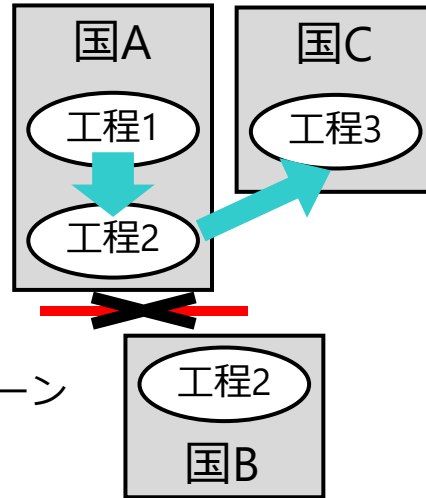


デジタル化

地政学リスク
保護主義、
感染症等
サプライチェーン
寸断リスク

現在～

製造工程の再編



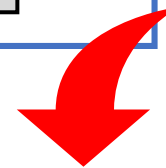
製造工程のグローバル化

情報技術の進展により、製造技術の移管コストが低下、市場への距離・生産コストの観点から、複数国・国内他メーカーへの製造委託によるサプライチェーンの分散が進む



製造工程の再編

地政学・国政状況等、**不確実性**に対する弱さがあり、サプライチェーンの寸断リスクが顕在化。バックアップ・将来移管を目指した新拠点国での製造や、国内メーカーでの製造への再編が起きる。



出展元：経済産業省 令和元年 ものづくり基盤技術の振興施策

コロナにより**不確実性**が今現実

COVID-19対応についてのIT動向

トピック

Respond

Rebound

Reimagine

Respond

今できていること

ITの近代化



従業員
(パートナー)



オペレーション



		デジタル化の加速(クラウド,アジャイル,MR)		
		セキュリティとガバナンス再構築	!	
暫定的なオンラインでの社内コラボ促進	✓	暫定対策対象外業務のデジタル化,リモート化		デジタルを活用した生産性を継続的に高める文化
社内業務環境へのリモートアクセス許可	!	リモートワーク基盤のフル活用,既存業務の自動化促進		AIを活用したどこからでも安全に働く基盤
簡易な事務作業のオンラインアプリ開発		サプライチェーン全体の見える化	!	リアルタイムでの需給予測,自動化されたプランニング
		データによる事業へのリスク分析と改善策の計画		社内全体,企業間での共通データプラットフォーム

✓ 対応済み ! 優先度高

出展元：©Microsoft

ワークスタイル変更への適合

リモートワークが定着化し、社内コミュニケーション・限定的な社外コミュニケーションのデジタル化については推進済

Rebound

現状回復と復活

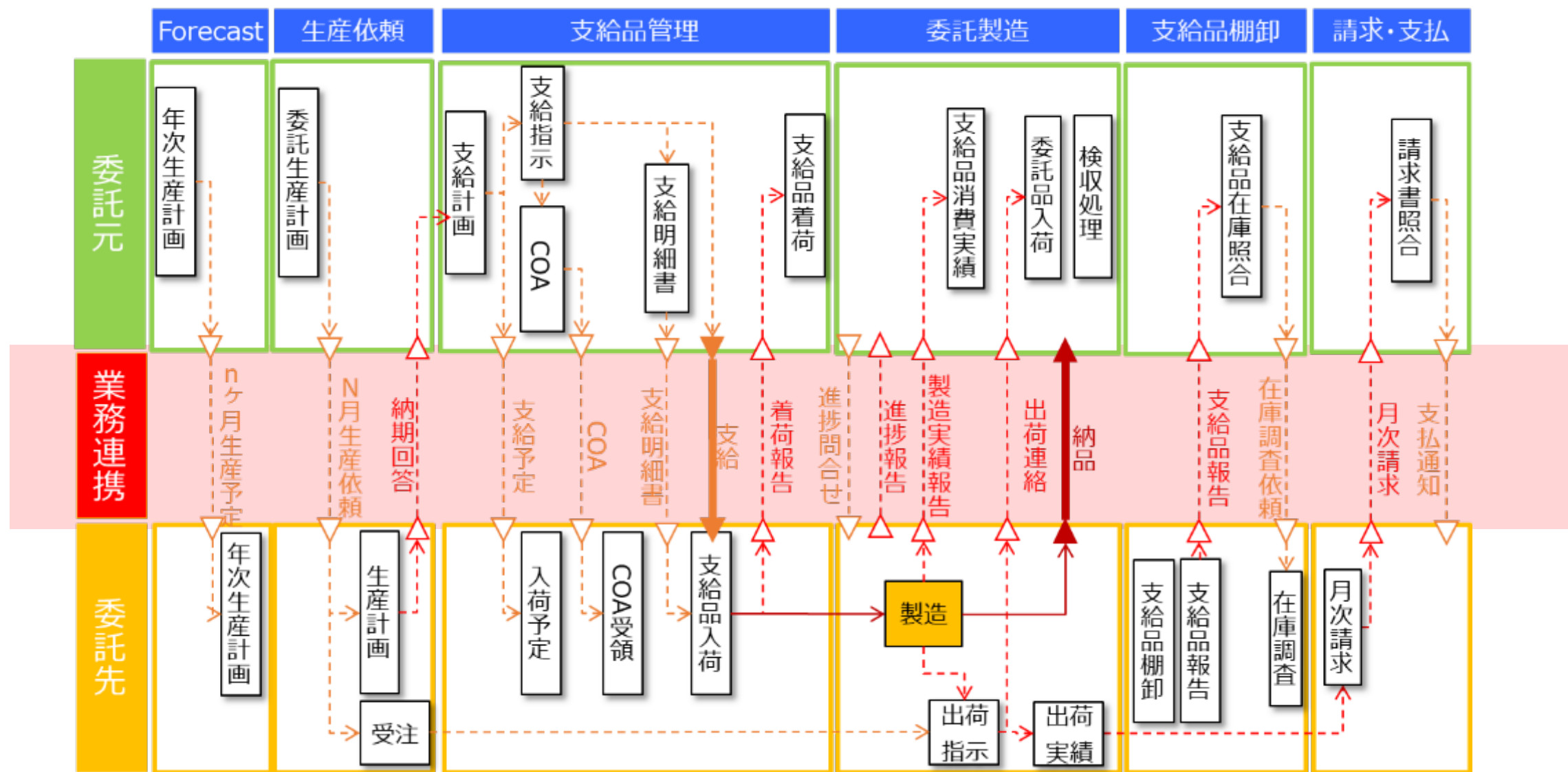
現状の回復と将来

業務プロセスの定常化（通常のリードタイムでの遂行）・効率化（リードタイムの短縮）のための施策検討

Rebound
現状回復と復活

新しいワークスタイル下での
製造委託先との業務連携の効率化への取組が急務

製造委託先との業務連携（再掲）



製造委託先との業務連携で潜む課題とは？

製造委託先との業務連携で、発生する課題

リードタイムの長大化



情報収集・整理の時間
がかかる

需要供給情報の不一致
による誤作業の発生

変化への対応遅れ



標準化されていない
業務プロセス

進捗確認の不一致

業務プロセスが標準化されていないため、作業依頼や確認、承認でムダなやり取りや手戻りが発生する。



作業の属人化

予定リードタイムの不一致

作業内容が担当者しか分からず負担が集中して進捗が遅れたり、不在の場合は業務が止まってしまう。



紙・メール+Excelによる運用

転記のムダ

需要共有情報・スペック情報の不一致

フォーマットの不一致やデータ管理ができていないため、情報探索や転記、類似作業に時間と労力を奪われる。

製造委託先との業務連携のシステム化の要素例

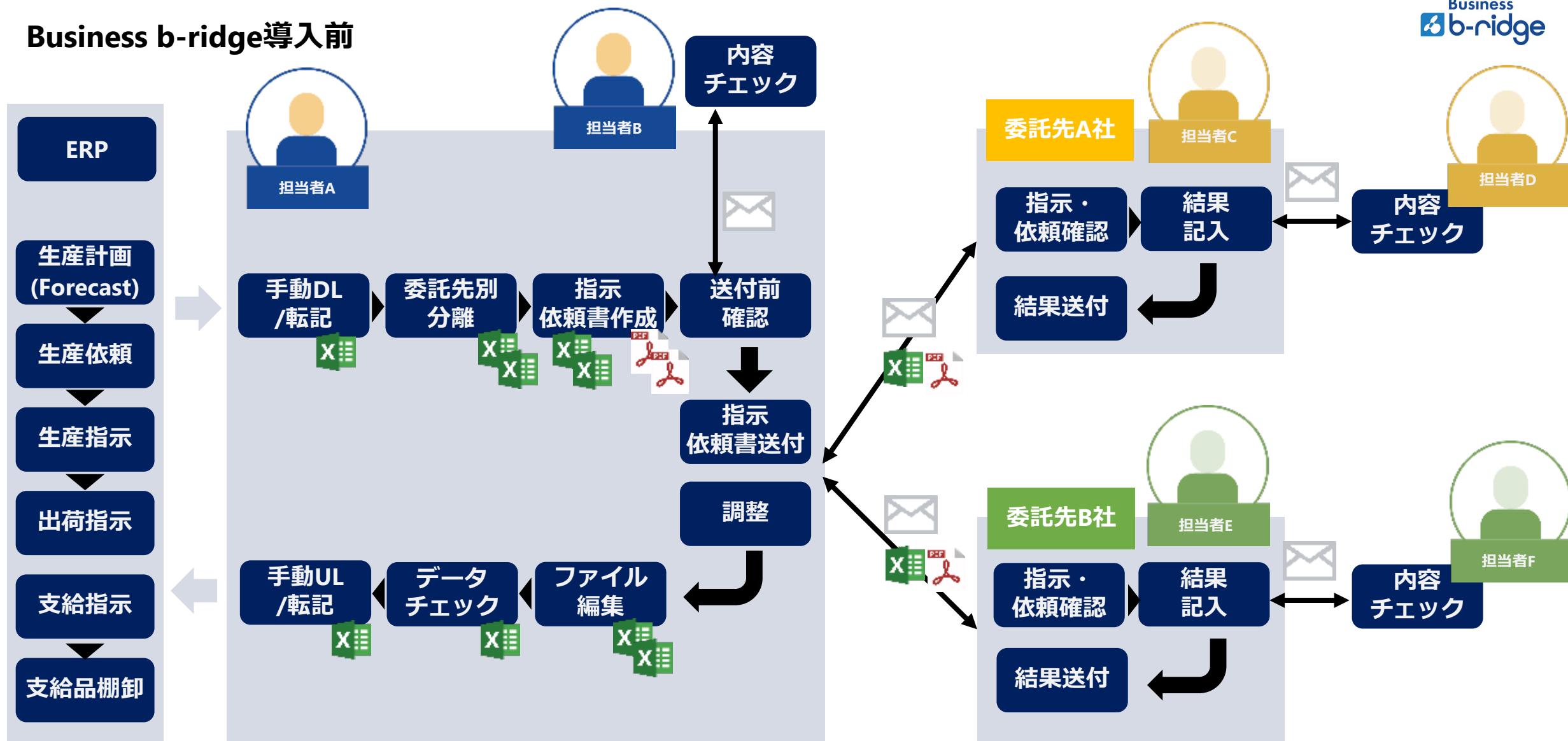
分類	システムにもとめられること
進捗管理	PO（発注）に対する納期状況、遅延時のアラート
	前工程遅延や支給品送付遅延等発生時の後工程への情報連携
情報の集約	委託製造の実績を区分ごとに共通管理 例）出来高、支給品投入数量、不良数、検査結果
	POに紐付く、調整情報（納期調整・要望コメント）の共通管理
	POに紐付く、ファイル情報（COA、納品通知）の共通管理
セキュリティ	委託先間で、他委託先の情報へアクセスができないこと
	委託先・委託元間情報連携時に誤送信（例.異なる委託先への送付）がないこと
多言語管理	海外製造委託先連携時に、現地メンバー用言語が利用できること
入力操作	Excelからのインポート
基幹システムとの連携	委託先の製造実績等を基幹システムへインターフェースして、転記入力作業をなくせること

変更への柔軟性が求められる要素： 例.委託先の変更/追加、法規対応・新市場向け等による管理項目の追加

サプライチェーンの業務連携における停滞時間の
発生しやすい運用と改善例のご紹介

「製造委託先との業務連携」

Business b-ridge導入前



【製造委託先との調整業務】

製造委託先との調整業務は、製造プロセスの進捗ごとに委託先との予定・実績確認の調整業務が行われます。一般的に、製品や工程ごとに委託先が異なることや変更時は自社のみならず後工程の委託先にも影響が出るなど複雑性が高く、多くの停滞時間が発生していました。

Business b-ridge導入前

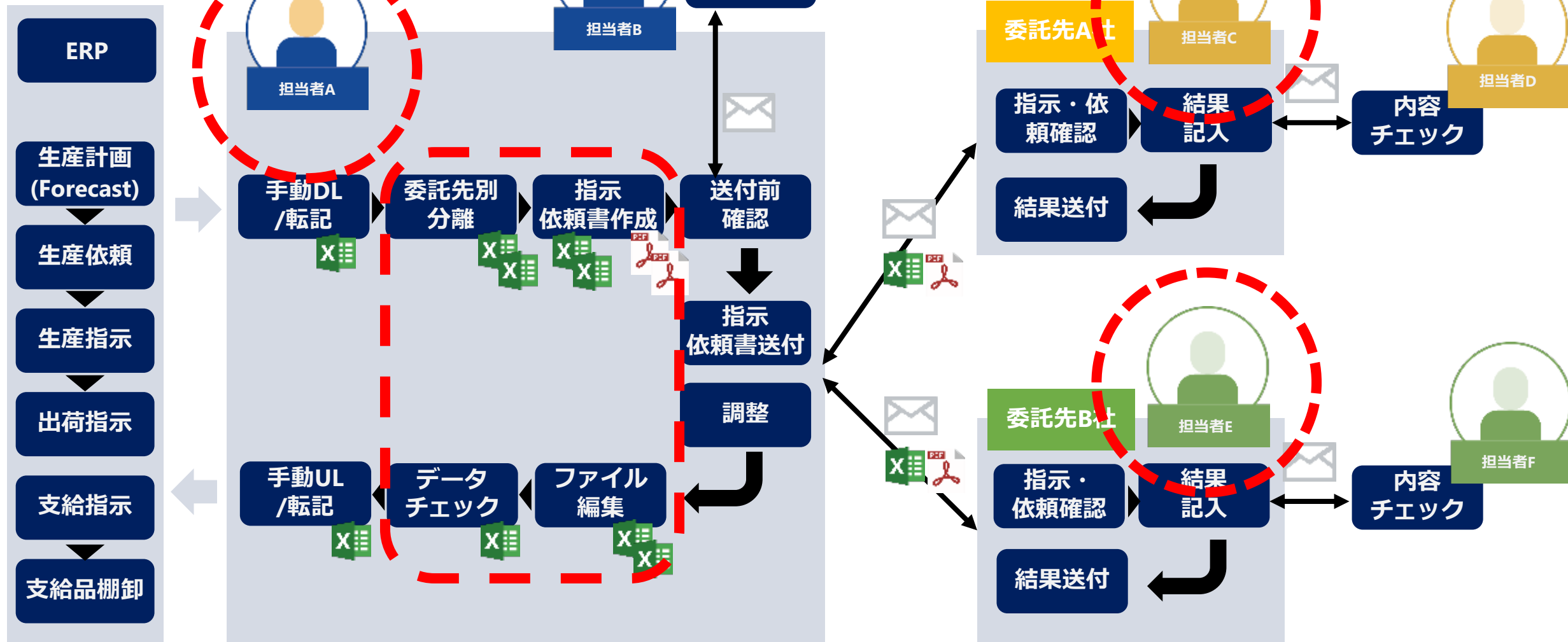


停滞時間の発生箇所①

作業依頼や確認・承認待ちの時間が発生している

一般に、委託先は1つではなく、また委託先企業からみても委託元企業は1つではないため、誤送信を防ぐための確認・チェック作業が発生していました。チェック担当不在時やフォーマット違いによるチェックミスによる手戻りでのリードタイム長大化が発生しがちでした。

Business b-ridge導入前

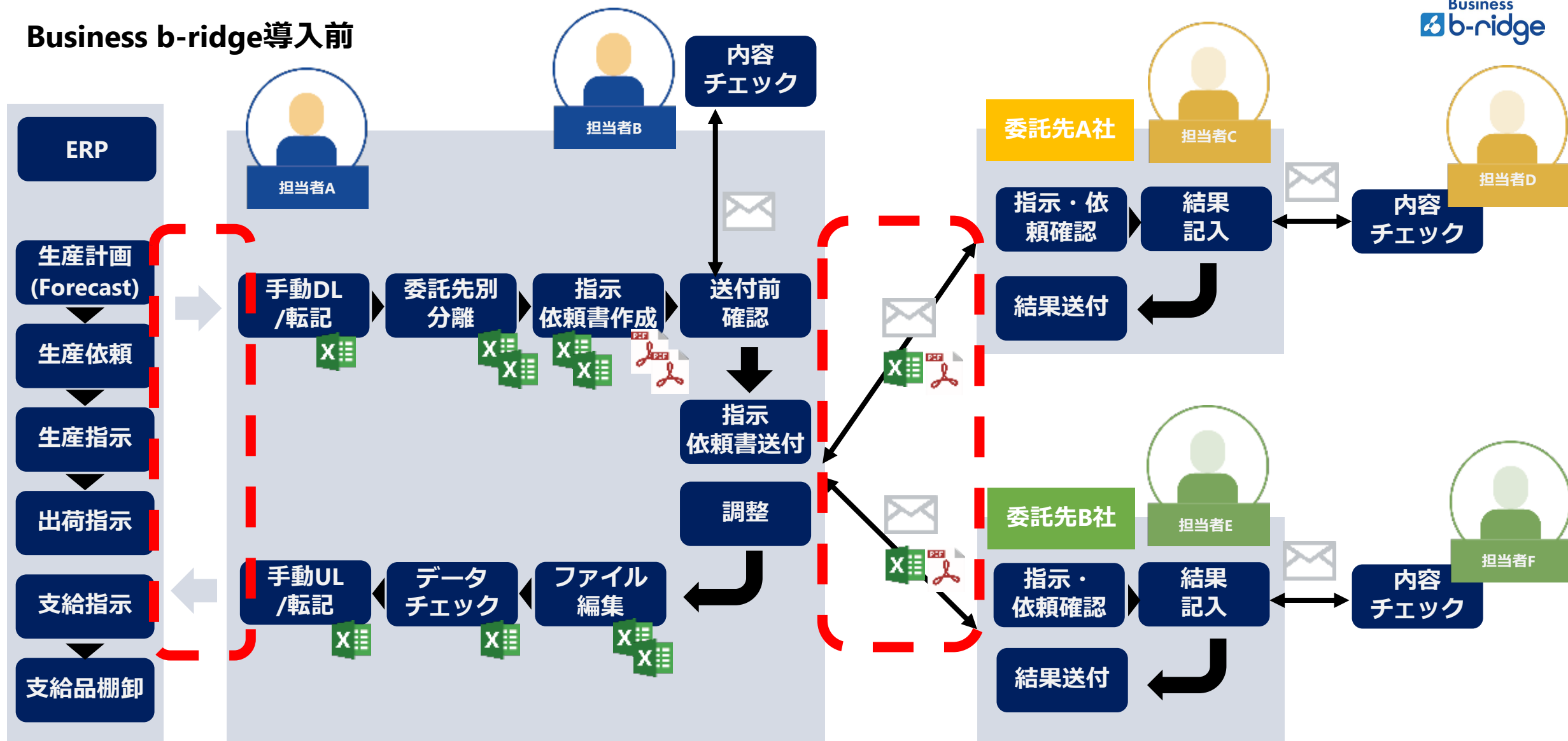


停滞時間の発生箇所②

データレイアウトが担当・委託先ごとに異なり属人的になっている。

製造プロセス進捗に合わせたデータと必要書類をセットに、委託先と業務連携をする必要がありますが担当や委託先毎にレイアウトや書類の格納先が異なるなど属人的となり、担当者の不在時の作業停滞や、代理担当のミスの誘発が起きやすい状況となっていました。

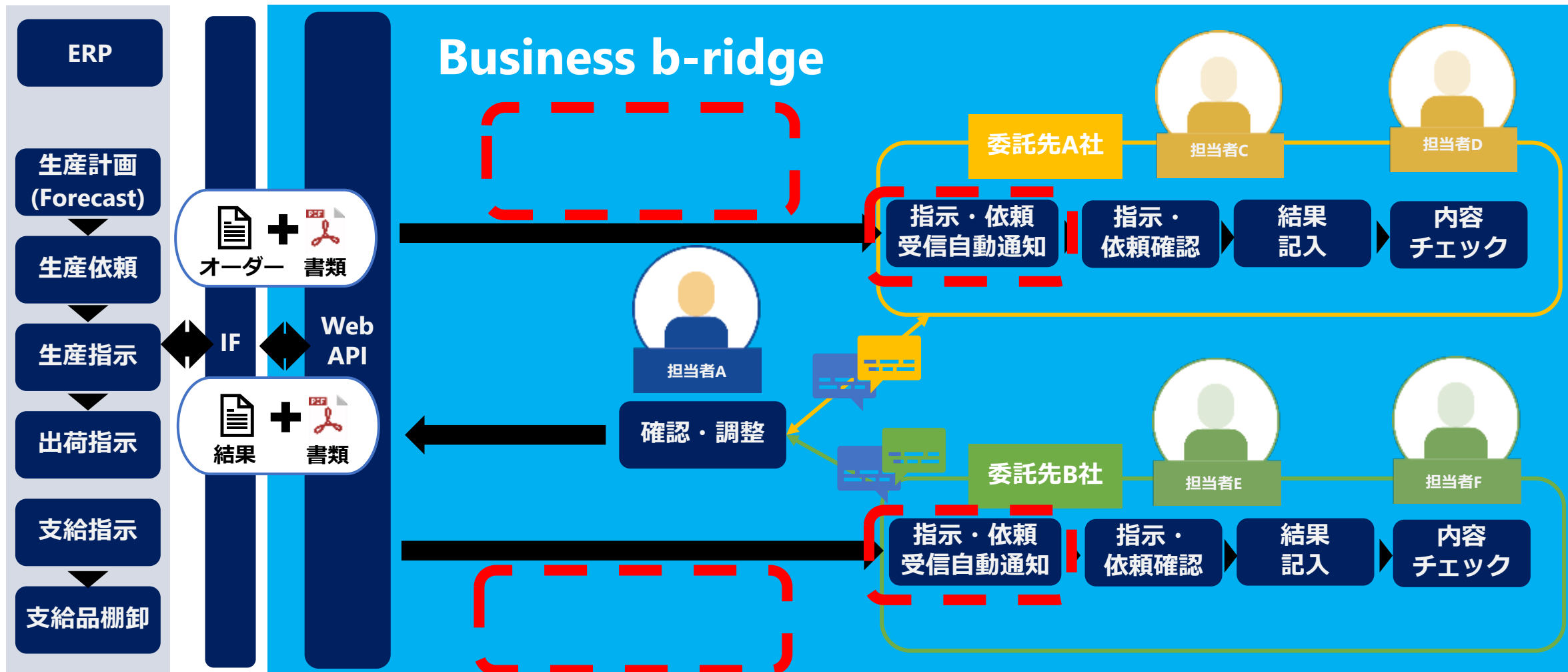
Business b-ridge導入前



停滞時間の発生箇所③

ERPとの連携や委託先との連携が手動/メール（+添付ファイル）でやり取りされている。

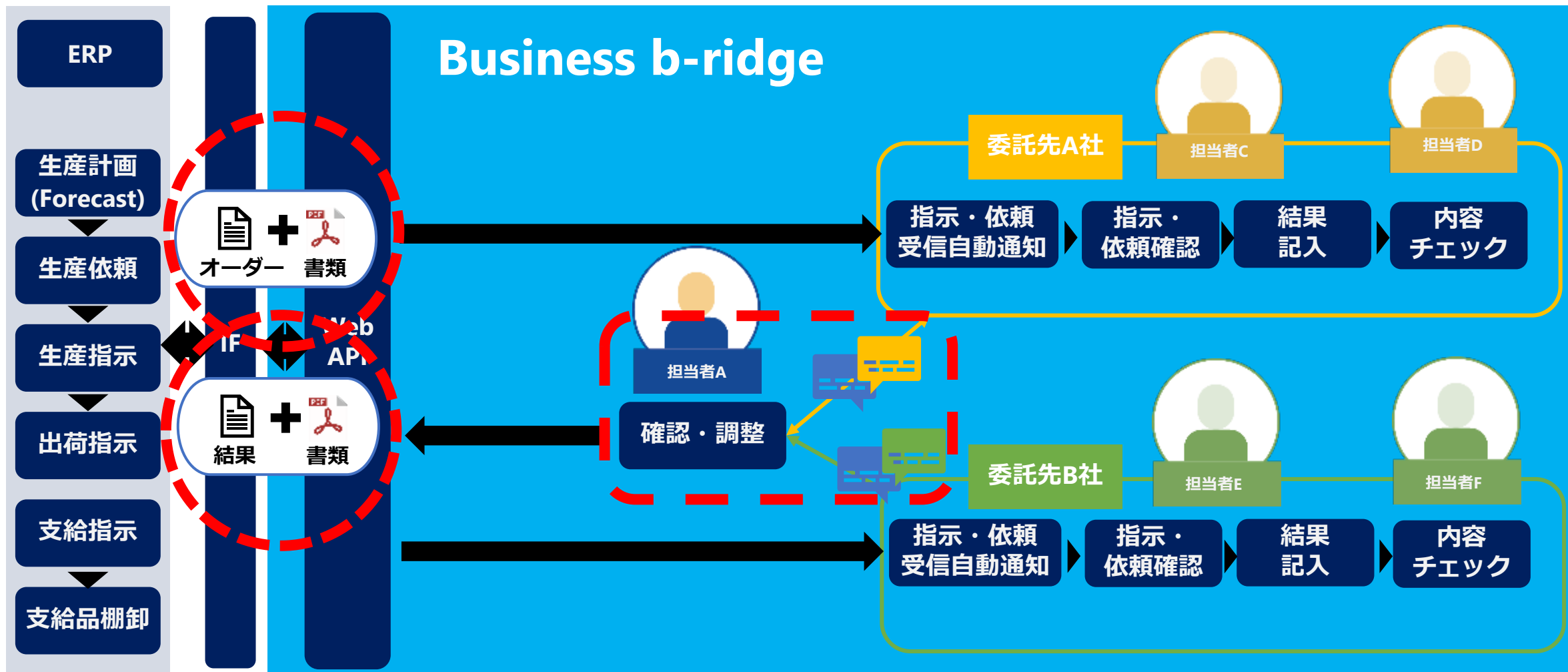
ERPからのデータ取得・ERPへのデータ反映が個人任せであったり、委託先との連携も個人によるメール送信（+添付ファイル）となっていて、企業としてデータの同期がとれなかったり、誤ったファイル（先祖がえり）でのデータ更新が発生していました。



停滞時間の解消①

権限設定によるデータ誤送信を排除、データ送受信時の自動通知による依頼連絡の排除

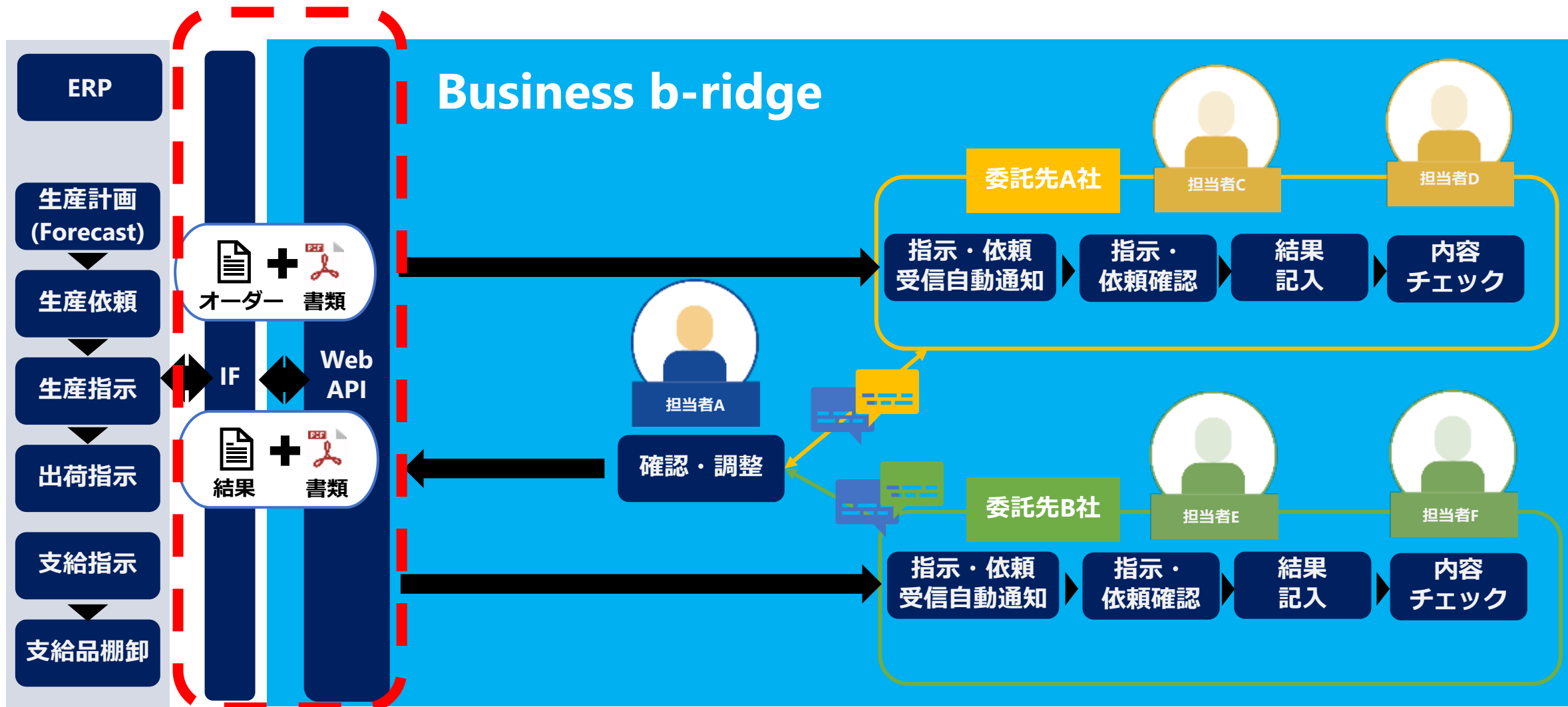
データは自動的にBusiness b-ridgeに格納され、権限設定により委託先は自身のデータ参照・編集ができることが保証され、事前のデータチェック作業がなくなりました。また、データ受信タイミングで委託先に自動通知がされるようになり、依頼連絡は不要になりました。



停滞時間の解消②

共通レイアウトの採用とデータの集約を行い、本来やるべきオーダーの進捗確認・調整に集中

データは製造プロセスの進捗ごとの共通フォーマットでBusiness b-ridgeni格納され、委託先はBusiness b-ridgeに対して結果を入力する運用となるためデータの編集・チェック作業はなくなり、業務的に本来必要な進捗確認や調整業務に集中できるようになりました。



停滞時間の解消③

定時でのインターフェース実行によるデータの同期

定時でのデータインターフェースによるERPとのデータ連携がなされることで、企業としてのデータ同期が図られ、ERPのデータ精度があがりました。委託先の結果を利用する他部門業務にも好影響となりました。

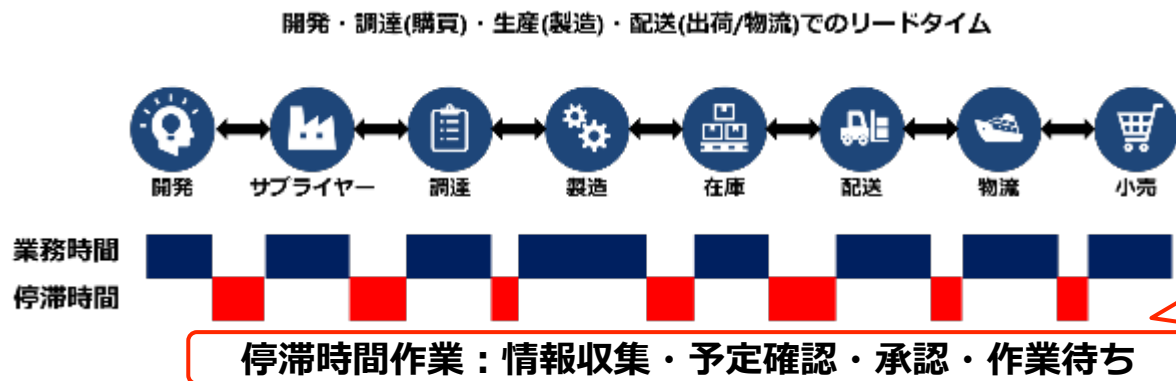
デモ：10分

業務連携でサプライチェーンを「強くする」

SaaSアプリケーションプラットフォーム



Business b-ridgeとは



停滞時間が発生する要因



紙・メール+Excel
による運用



作業プロセスが
標準化されていない



作業の属人化

サプライチェーンにおける業務は、供給連鎖の上流・下流にある他部門・他企業との連携があるのが特徴です。
サプライチェーン上のプレイヤーにとって、リードタイムの短縮は喫緊の課題です。
リードタイムの中には、自分の業務予定・作業を確実に遂行するため、上流・下流のプレイヤー（他部門・他企業）と情報交換をする時間（業務連携）があります。

ビジネスエンジニアリング（株）は、この停滞時間の発生に着目したSaaSサービスを提供しています。

Business b-ridge

サプライチェーンの業務連携に向けたアプリケーションが簡単に作れる
SaaSプラットフォームです。

Business b-ridgeとは

サプライチェーン業務連携における停滞時間を、短縮し業務品質も向上するためには、システム化が必要です。しかし、以下の理由により完成品のアプリケーションパッケージが存在しにくい領域です。

①生産形態の違いなどから独自性が高い

サプライチェーン業務は同じような内容であっても製品の調達や製造、在庫、流通方法が企業ごとに違うため、業務にあったシステム構築には多くの時間や費用が必要となる。



②市場の変化に合わせた変更や改善が多い

市場の変化から生産拠点の再配置や災害、関連企業の倒産などによるリスク対応など業務プロセスを変更・改善することが多く発生するため、システムもそれに合わせて変更することが多く運用による負担が重くなる。



③社内外から多くのユーザーが関わるため業務が複雑

営業、製造、サプライヤー、調達、委託先、倉庫、物流など様々な役割をもつユーザーが多く関わり、システムに求めるものもそれぞれ異なるため、システムとして統合することは容易ではない。



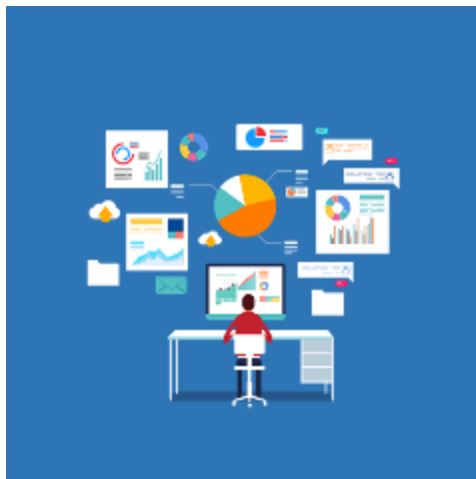
このため、運用効率がよく短時間で構築できるシステムを目指すのであれば、

Business b-ridge

サプライチェーンの業務連携に向けたアプリケーションが簡単に作れる
SaaSプラットフォームです。

Business b-ridgeの特徴

Business b-ridgeの特徴



画面操作だけの
スピーディなアプリ構築



複雑な業務にも
対応するプロセス制御



コンプライアンスやリスク
に対応するログ機能

出荷判定管理

貿易管理

在庫管理

見積購買管理

委託管理

設備保安全管理

開発文書管理

品質管理

ヘルプデスク

Business b-ridge
(SaaSアプリケーションプラットフォーム)

Microsoft Azure



開発



サプライヤー



調達



製造



在庫



配送

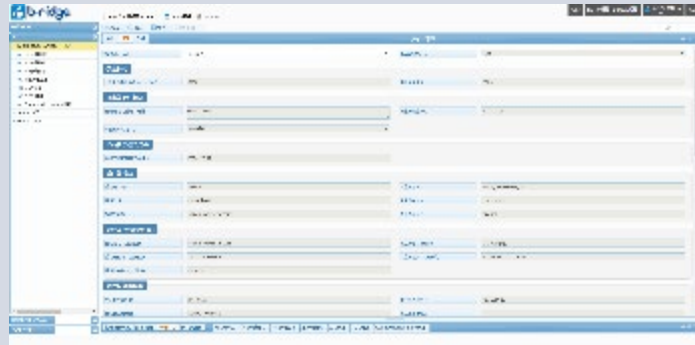


物流



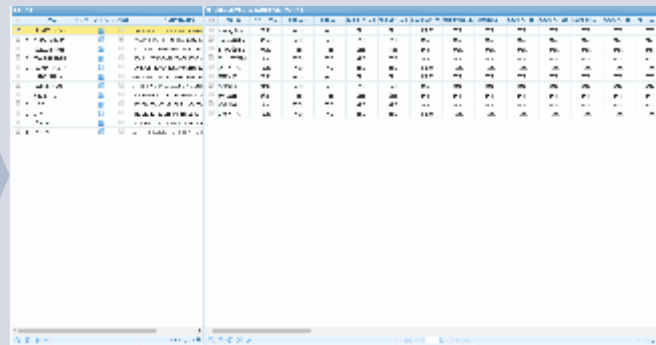
小売

システム構築の流れ



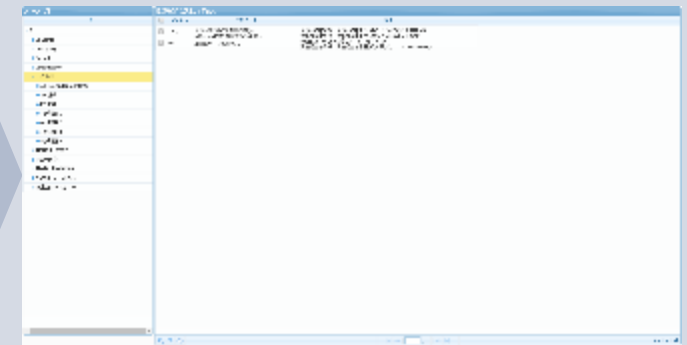
1 入力画面の作成

ユーザの役割や作業内容に応じて入力画面を作成します。作成した入力画面は他の画面と紐づけることができ、データを連携させたり、自動転記させることができます。



2 プロセス設定

作成した入力画面に対して作業のプロセスを設定します。プロセスに応じて、ユーザのデータに対する編集権限やボタン機能などを制御することができます。



3 ロジック設定

1, 2で標準化された業務に対してより作業を省力化、自動化するための設定をします。ロジックの機能としてデータの自動入力や入力チェック、データ集計などがあります。

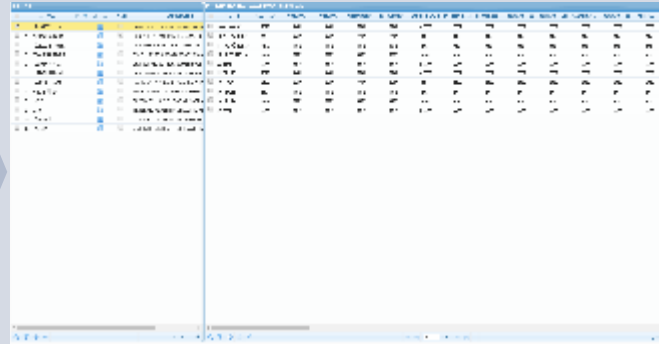
**Business b-ridgeではシステムを構築するための専門的な知識は必要ありません。
画面操作だけで業務システムが構築できます。**

お客様に多くご活用いただいた業務シーンから作成した「スターターパック」



1 アプリコピー

お客様に多くご活用いただいた業務シーンから業務システムのテンプレートをご用意しています。コピーしてすぐにご利用いただけます。



2 設定調整

コピーしたテンプレートは標準的な設定しかされていません。画面の入力項目などを変更し、業務に合うように調整します。

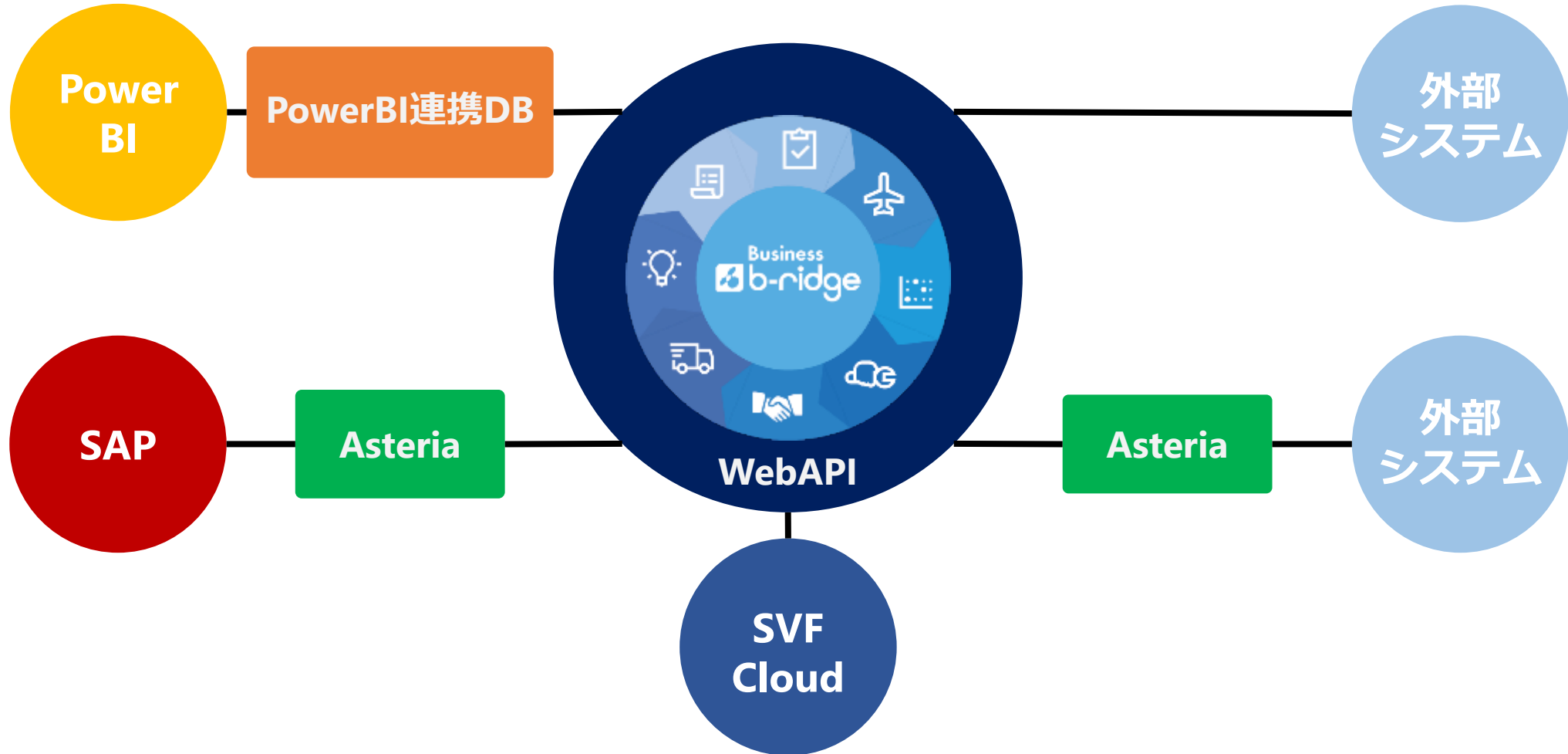


3 データ移行

1, 2 まででゼロから構築するよりも構築の手間を省くことができました。最後にシステムに必要なデータなどを登録します。

これまでの事例からご利用の頻度が多いシステムをテンプレートとしてご用意しています。
ゼロから構築するよりも設定の手間を省くことができます。

Business b-ridgeのシステム連携イメージ



サプライチェーンの業務連携をシステム化する場合は、
社内で利用しているシステムやITサービスと連携が必要なが多くあります。
Business b-ridgeではこうしたシステム連携をスピーディにするためWebAPIやデータ関係アダプターをご用意しています。

Business b-ridgeの導入例

Business b-ridge 導入事例 サプライチェーン



業務領域	業種	対象範囲	利用部門	導入効果	連携システム
購買管理	消費財	取引先リスクアセスメント評価	購買部門、仕入先	業務効率化 情報デジタル化に伴う見える化 属人性の排除	SAP ERP
	化学	見積管理	依頼部門・購買部門・サプライヤー	購買プロセス見える化・内部統制強化 サプライヤー交渉情報の一元化 事業部横断での業務プロセス標準化	SAP ERP WFエンジン
	流体加工機器	引合・委託先購買管理	購買部門・営業部門・仕入先	業務効率化 情報デジタル化に伴う見える化 属人性の排除 ※既存マニュアル業務ではボリューム的に回らない	基幹システム
製造委託管理	製薬	製造委託連携	生産部門、品証部門、外部倉庫、委託先製造部門、委託先品証部門	情報共有によるSCM業務のスピードアップ 管理部門の省力、誤配信・ご入力の防止、情報精度のチェック	SAP ERP
品質管理	製薬	品質保証 監査・CAPA管理	本社品質保証部、工場品質保証G	苦情情報のトレースのデジタル化による査察対応の効率化、顧客提供情報の精度向上	なし
	製薬	製品苦情報告	MR・本社品質保証部・工場品質部門	苦情情報のトレースのデジタル化による査察対応の効率化 顧客提供情報の精度向上	なし
	製薬	製品苦情報告	MR・本社品質保証部・工場品質部門	旧システムリプレイス、苦情情報のトレースのデジタル化による査察対応の効率化、顧客提供情報の精度向上	人事管理 営業システム(施設情報)

Business b-ridge 導入事例 サプライチェーン

業務領域	業種	対象範囲	利用部門	導入効果	連携システム
出荷管理	製薬 日本メジフィジックス	輸送状況情報提供サービス	物流部門、運送会社、営業部門	医薬情報担当者（MR）への配送情報共有による顧客サービス向上	フィーチャーフォンサイト(PJで開発)
	製薬	GQP出荷管理	品質保証部門	査察対応の効率化 付帯業務の削減	SAP ERP
	製薬	出荷情報共有	物流部門、運送会社	運送会社との情報共有効率化	mcframe
物流管理	流通	輸入貨物トレース・店着管理	海外拠点物流部・通関業者・本社貿易管理部	輸入業務の進捗状況見える化 社外含めたプレーヤーの情報一元化	基幹システム
	商社	石油類物流管理	商社（営業部門） 社外：発注元 社外：ターミナル 社外：仕入先	石油類の物流情報の可視化 （従来は、メール＆FAX）	なし
貿易管理	製薬 中外製薬	輸出業務情報管理・帳票作成	輸出部門、工場業務G	各案件ステータスの見える化を実現、 情報管理が容易になった貿易書類作成プロセスの効率化、関連データ及び書類を一元管理	SAP ERP
	精密機器	輸入管理システム	国内物流管理部門 （本社・グループ会社）	旧システムリブレース 法規制対応(コンプライアンス)	基幹システム 人事システム NACCS
	製薬	貿易情報管理 （輸出・輸入管理）	貿易管理部門、サプライチェーン部門、 フォワーダー、グループ会社（販社）、 財務部門	各案件ステータスの見える化を実現 貿易書類作成プロセスの効率化電子保存帳簿法対応	SAP ERP SCP
引合管理	空運 ANAセールス	代理店予約受付管理	マーケティング部、 代理店各社	情報共有による業務スピードアップ、 付帯業務削減による効率化 情報管理(コンプライアンス)	CRM：Oracle COD
	情報	案件管理	営業・プリセールス・PM	最新情報の集約・見える化	なし

すぐにはじめられます！

お問い合わせ



Business b-ridge のホームページ
でお試しボタンをクリック

フォームに必要項目
をご記入ください。

担当者がフォーム
内容からご対応します！

<https://www.businessbridge.jp/>へアクセス

30日経過後、自動的に課金されることはございません。ご安心してお試しください。